

\*\* 2007年 3月 20日改訂 (第3版)

\* 2005年 12月 21日改訂

医療機器認証番号 14800BZZ00481000

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管  
管理医療機器 気管支吸引用カテーテル 31249000

## ディスポーザブル気管内吸引チューブ

## 再使用禁止

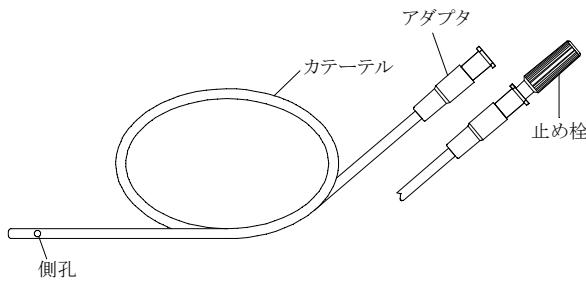
## 【禁忌・禁止】

- 再使用禁止

## 【形状・構造及び原理等】

\*\* 本品は、患者の体内に挿入するカテーテルと吸引源に接続するアダプタから構成され、カテーテルを咽頭、喉頭、気管又は気管支に挿入し、吸引源と接続することで吸引、排液及び異物除去ができる。

## \*\* &lt;構造図(代表図)&gt;



\*\* カテーテルはポリエチレン製。

・サイズについては、包装表示で確認すること。

\*\* 止め栓付きと無しある。

## 【使用目的、効能又は効果】

\*\* 本品は、経鼻又は経口的に、気管内チューブ又は気管切開チューブを介して咽頭、喉頭、気管又は気管支に挿入し、吸引、排液及び異物除去に用いる。

## \*\* 【品目仕様等】

- カテーテルとアダプタは、以下の表の接続強度を有する。

サイズ(外径) (mm)	力の最小値(N)
1.33~2.67	5
3.00~4.67	15
5.00 以上	20

- カテーテルは、40kPa (300mmHg) の陰圧をかけた時に閉塞しない。

## 【操作方法又は使用方法等】

\*\* 本品は滅菌済みであるのでそのまま直ちに使用できる。

気管内挿管を施してある患者に対する気管内吸引の方法

- 1) 本品を包装から取り出す。  
注意 汚染に十分注意すること。
- 2) 定圧持続吸引装置と接続する。
- 3) 本品と気管内チューブとの滑り性向上と吸引陰圧を確認する目的で、滅菌蒸留水を吸引して、カテーテルの先端を濡らす。
- 4) 吸引を中止した状態で気管内チューブに挿入し、抵抗のあるところまで押し進める。  
注意 無理な操作は行わないこと。〔粘膜損傷の原因となる。〕
- 5) 吸引を行いつつ本品を回転させながらゆっくりと引き抜く。  
注意 過剰な吸引圧をかけないこと。〔粘膜損傷の原因となる。〕
- 6) バッグを用いて肺を加圧して、換気を行う。
- 7) これらの操作を繰り返す。

## &lt;使用方法に関連する使用上の注意&gt;

- 清潔操作下にて行うこと。

\*\* 操作中に異常を感じた場合は、すみやかに使用を中止し、適切な処置を施すこと。〔粘膜損傷の原因となる。〕

\*\* 併用する医療機器の使用方法等については、その添付文書を確認後、使用すること。

\*\* 操作中に過剰な吸引圧を掛けないこと。〔粘膜損傷の原因となる。〕

## 【使用上の注意】

## &lt;重要な基本的注意&gt;

- 気管内チューブから本品を挿入する場合は、気管内チューブの内径に合ったサイズを選択すること。

\*\* 吸引ごとに本品を交換する事。〔細菌汚染の危険性がある。〕

- 手技に伴い発生する恐れのある合併症等に対しての予防、治療対策を講じておくこと。
- 包装が既に破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないこと。

## \*\* &lt;有害事象&gt;

- 重大な有害事象
- 粘膜組織損傷
- 感染

## &lt;その他の注意&gt;

- 使用後は感染防止に配慮して安全な方法で処分すること。

- 本品はエチレンオキサイドガス滅菌済み。

## 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

## &lt;貯蔵・保管方法&gt;

- 水ぬれ、直射日光、高温多湿を避け保管すること。

## &lt;有効期間・使用の期限&gt;

- 箱に記載している使用期限を参照のこと。(自己認証による)

## \*\* 【包装】

50本/1箱

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

## \* &lt;製造販売業者&gt;

株式会社八光

長野県千曲市大字磯部 1490 番地  
TEL 026-275-0121

## \* \* &lt;製造業者&gt;

株式会社八光

販売窓口: 東京都文京区本郷三丁目 42-6  
TEL 03-5804-8500